

イベント参加報告

■物質・材料研究機構■

リーダーのための「アンコンシャスバイアス」セミナー

【日時】 2020年1月7日（火）

【場所】 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 千現地区
研究本館（東京都千代田区）

【講師】 守屋 智敬氏（社団法人アンコンシャスバイアス
研究所 代表理事）

【題名】 リーダーのための「アンコンシャスバイアス」
セミナー ～ひとりひとりが イキイキと活躍するため
に必要なこと～

「アンコンシャスバイアス」とは「無意識の偏ったモノの見方」のことです。チームメンバーの誰もがイキイキと活躍できるようにするために、リーダーは自分の中にあるアンコンシャスバイアスを認識し、それをどう対処してゆくのか知る必要があります。そのことを守屋智敬さんから90分のセミナーでご紹介いただきました。本セミナーは物質・材料研究機構人材部門人材開発・大学院室が主催し、同機構の職員のみならず、ダイバーシティサポートオフィス参加機関にも、広く参加の門戸を開いていただきました。そこでこの項では参加した筆者から、内容の一端と感想をご紹介させていただきます。

目の前にいる人が必ずしもそうであるとは限らないのに、私たちは出身地や血液型などで相手を決めつけることはないでしょうか。そうして自分から相手に「変わった人ですね」と言ったとき、相手はどう思うでしょうか。自分の「決めつけ」や「押しつけ」の言葉や態度が、相手を圧迫することはないでしょうか。こうしたリーダーの言動や態度は、チームのメンバーに悪影響を及ぼします。たとえば相手はリーダーであるあなたに対して、アイデアを口に出来なくなってしまうかもしれません。守屋さんはこうした言動が、余裕がないときや目下の相手、半径1~2mの相手に出やすいと指摘されました。

アンコンシャスバイアスには様々なタイプがあって、人や組織に影響します。上記のように、属性や特性をもとに先入観や固定観念で相手を決めつけてしまったり、問題が起きて「私は大丈夫」、「私は悪くない」と自分の都合のいいように思いこんだり、専門家や立場が

上の人、経験豊富な人の言うことは間違いのないと思いつたり、周りの人間の言動や行動に追従したり。リーダーのこうした言動や態度は、組織の中の人間関係の悪化やイノベーションの低下、ハラスメント発生の原因になります。また個人的にも、相手のやる気を削いだり、自分自身を過大評価/過小評価させたりする原因となります。こうしたアンコンシャスバイアスが生じてしまう原因は、誰もが持つ「自己防衛心」にあると守屋さんは指摘されました。生理的には、脳がストレスを回避しようとすることから生まれるそうです。

自分が相手にアンコンシャスバイアスしていても気が付かないとき、どうしたらよいでしょう。相手から「○○さん、今の、アンコンシャスバイアスですよ！」と告げてもらえるでしょうか。しかし実際それは相手にとって、とても難しいことです。守屋さんは相手の非言語メッセージである表情、態度から、自分がアンコンシャスバイアスしたことを気付くことがある、と教えてくれました。うつむく、口数が少なくなる、少し強めにドアを閉めるなど。こうした非言語メッセージを習慣的に気づくことが、その後のフォローや自己改革をスタートさせるために重要です。



(次頁へ続く)

(前頁からの続き)

アンコンシャスバイアスは無意識に生じており、誰もが持っているものなので、自身がそのような見方をとってしまうことは仕方ありません。しかし、それを相手に実行に移してしまうと問題が生じます。「私は大丈夫」「私は問題ない」と思い込まないことです。対策として、自分が相手にやってしまったと気づいたとき、「これって、わたしのアンコンシャスバイアスだった？」と相手に聞いてみるのもよいでしょう。また、自分がやった瞬間に気づいたことや、感じた違和感を、2週間メモしてみるのもよいでしょう。そうして自身の傾向を知ったうえで、自分が変わったように見えるように努力してみたら、メンバーの見る目が変わったと、守屋さんは実体験から紹介されました。

内容は以上となります。セミナーは、隣の参加者とグループディスカッションしたり、講師と挙手でコミュニケーションしたりしながら、楽しく進められました。筆者はアンコンシャスバイアスという言葉は知りませんでした。もちろん実体験で思い当たることはいくつもありましたので、たいへん合点がいました。リーダーは決めつけない、押し付けがないで、謙虚に相手に対することが必要と思いました。しかし一方で、事実を確認したうえで、リーダーはときに相手を叱責することも必要です。そうしたとき、相手に丁寧に理由を説明すると同時に、自分自身に対しても叱る根拠がアンコンシャスバイアスになっていないか、対話してゆく必要があると感じました。

(森林総合研究所 ダイバーシティ推進室 星野 大介 記)

DSO参加機関 イベントのご案内

■ 量子科学技術研究開発機構 ■

研究力向上のためのスキルアップセミナー

- 【日時】 2020年3月6日 (金) 15:30~17:00
- 【行事名】 スキルアップセミナー
- 【題名】 すごい講義 ~ わかりやすい素粒子のはなし ~
- 【講師】 多田 将氏 (KEK素粒子原子核研究所・准教授)
- 【場所】 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
重粒子治療推進棟 大会議室
- 【申込方法】 qst-diversity_s@qst.go.jp
- 【開催機関】 量子科学技術研究開発機構 ダイバーシティ推進室
- 【関連情報】 <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/22717.html>
- 【問合先】 量子科学技術研究開発機構 ダイバーシティ推進室
(mail : qst-diversity_s@qst.go.jp)
- 【対象】 DSO参加機関以外も対象

ダイバーシティスキルアップセミナー
すごい講義
わかりやすい素粒子のはなし

2020年 3月6日 金 15:00~17:00 開場 14:30
放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟 2F 大会議室 入場無料

1部 15:15~16:05
講演 「素粒子の研究が宇宙の始まりを解き明かす」

2部 16:10~16:40
第1部講演の「伝わりやすい部分」について 解説 + 質疑応答

講師 多田 将 (ただしょう)
高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 准教授

Profile
京都大学理化学研究所博士課程修了、理学博士、高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所准教授。
著書に、『すごい実験』『すごい宇宙講義』『宇宙のはなし』『ミラクル・アーク/ロジックの物理学-狭義論』『ニュートリノ』(以上、イースト・プレス)、『放射線についてかんがえよう。』(明幸堂)がある。

“全米の物理学者” 多田 将氏が素粒子物理学の最先端を初心者にもわかりやすくお話しします!

お申込み・お問合せ
事前申込みの方は
*ご所属
*ご氏名、参加人数
*連絡先メールアドレス、
をご記入の上
qst-diversity_s@qst.go.jp
宛に 送付してください。
当日ご参加の方も大歓迎です。
皆さまのご来場を
心よりお待ちしております。

主催：量子科学技術研究開発機構 ダイバーシティ推進室
共催：量子科学技術研究開発機構 イノベーションセンター イノベーション戦略課
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区川内 4-9-1

ダイバーシティ 研究環境実現イニシアティブ (連携型)
文部科学省科学技術人材育成費補助事業

DSO参加機関 イベントのご案内

■ 千葉大学 ■

第7回ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム連絡会

【日時】2020年3月16日(月) 13:00~15:00 (情報交換会15:00~16:00)

【行事名・題名】第7回ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム連絡会

—多様な人材が活躍できる環境づくりを考える—

【講師】藤山 新先生(首都大学東京 ダイバーシティ推進室)

【場所】千葉大学 西千葉キャンパス 本部棟5F 第2会議室(公共交通機関をご利用の上ご来場ください)

【申込方法】下記(*)の申込フォームからお申込みください。

アクセスできない場合は、【機関名・お名前(ふりがな)・所属・身分・連絡先(電話・E-mail)】をご記入の上、下記メールアドレスへご返信下さい。

【開催機関】国立大学法人 千葉大学

【関連情報】https://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity/info/chiba_conso_r020316.html

【問合せ先】国立大学法人千葉大学 運営基盤機構 男女共同参画推進部門
(mail: diversity-office@chiba-u.jp)

【対象】DSO参加機関以外も対象(どなたでもご参加いただけます)

* 申込フォーム

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=VXoMLo0fA0GDKLmcF45iqZWGsknAVI5MrGzFM85Wc5ZUQINMSTQ2WfU3N0EwSzRLR1UQUdEWIcwUi4u>

UQUdEWIcwUi4u

第7回 ダイバーシティCHIBA 研究環境促進コンソーシアム連絡会

多様な人材が活躍できる環境づくりを考える

2020年3月16日(月) 13:00~15:00

15:00~16:00 情報交換会(参加費無料)

会場: 千葉大学 西千葉キャンパス 本部棟5F 第2会議室

対象者: コンソーシアム参加機関、本テーマに興味・関心のある方

ミニレクチャー: 首都大学東京ダイバーシティ推進室の実践事例

講師: 首都大学東京 ダイバーシティ推進室 藤山 新 氏

東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了 博士(社会学)
世田谷区立男女共同参画センター職員、復興庁男女共同参画政策
調査官を経て2015年2月の現職。日都市男女平等参画推進委員、日本
スローモーション学会理事兼幹事、日本スローモーション学会理事
に必要なLGBTの人々の配偶に関する調査研究、研究開発として活動。

女性の活躍にとどまらず、多様な人材が活躍できる環境づくりを進めるには、どのような取組が必要なのでしょう。今回は、2011年にダイバーシティ推進室を開設して以降、一貫してダイバーシティ推進に取り組んでいる首都大学東京で、男女共同参画推進並びに多様性を踏まえた構成員支援をご担当されている藤山先生をお迎えし、首都大学東京の実践事例をご紹介します。当日は、ミニレクチャーの後、参加者が所属する機関の事例紹介や意見交換ができる時間も設ける予定です。連絡会終了後は、情報交換会(参加自由・無料)も開催しますので、ぜひ合わせてご参加ください。

ダイバーシティCHIBA 研究環境促進コンソーシアムとは
現在、大学や研究機関 11 機関が参加し、年 2 回、連絡会を開催し、各機関の好事例やダイバーシティ推進に関する情報を学びながら、参加機関同士の交流を深めています。今年度から、組織だけでなく、個人参加も可能な仕組みとし、随時参加機関・参加者を募集中です。

【参加申し込み・問合せ先】 申し込みフォームからお申込みいただけます。

QRコードから申込フォームにアクセスできます

アクセスできない場合は、チラシ裏面の必要事項を以下までご連絡ください
千葉大学男女共同参画推進部門 (ダイバーシティCHIBA 研究環境促進コンソーシアム事務局)
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
TEL & FAX 043-290-2020 E-mail diversity-office@chiba-u.jp



雑誌「共同参画」(内閣府発行)の紹介

内閣府では男女共同参画の普及啓発を目的として、雑誌「共同参画」を月刊で発行しています。毎回ダイバーシティ推進に関わる特集が組まれており、またほかにも関連する様々な時事情報など、たいへん興味深い話題が満載です。直近の1月号には、世界各国の男女共同参画に対する取り組みが特集されています。下記のURLにアクセスしてぜひご一読ください。

<http://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/202001/pdf/202001.pdf>



DSO参加機関 イベントのご案内

■ 岡山大学 ■ 吉備の国女性研究者・技術者ネットワーク交流会 女性上位職の実現とワークライフバランス

【日時】2020年2月20日（木）13:00~16:30
 【行事名】吉備の国女性研究者・技術者ネットワーク交流会
 【題名】「女性上位職の実現とワークライフバランス」
 【講師】藤原 恵子氏（フジワラテクノアート（株）・社長）
 【場所】岡山大学津島キャンパス 自然科学研究科棟2階 大講義室兼大会議室
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_all.html
 【申込方法】メールにて申込: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp / 〆切 2月14日（金）
 【開催機関】国立大学法人 岡山大学 ダイバーシティ推進本部
 【関連情報】<https://www.okayama-u-diversity.jp/>
 【問合先】ダイバーシティ推進本部
 （E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp; TEL: 086-251-7011）
 【対象】学外者も可：本学とのネットワークに参画を希望する研究者・技術者（DSO参加機関以外も対象）

■ 岡山大学 ■ 令和元年度第2回研究スキルアップ講座 みんなで知っておきたいアンガーマネジメント入門

【日時】2020年2月28日（金）13:30~15:30
 【行事名】令和元年度第2回研究スキルアップ講座
 【題名】「みんなで知っておきたいアンガーマネジメント入門」
 【講師】蓮沼 直子氏（広島大学 大学院医系科学研究科・教授）
 【場所】岡山大学津島キャンパス 中央図書館3階 セミナー室
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_all.html
 【申込方法】メールにて申込: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp / 〆切 2月21日（金）
 【開催機関】国立大学法人 岡山大学 ダイバーシティ推進本部
 【関連情報】<https://www.okayama-u-diversity.jp/>
 【イベント掲載】<https://www.okayama-u-diversity.jp/skillup-support/news/4253>

【問合先】ダイバーシティ推進本部
 （E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp; TEL: 086-251-7011）
 【対象】学外者も可：本学とのネットワークに参画を希望する研究者・技術者（DSO参加機関以外も対象）



■ 岡山大学 ■ 令和元年度第3回研究スキルアップ講座

初級・中級者向け英語論文セミナー

【日時】2020年3月3日（火）① 13:00~15:30 / ② 17:30~20:00

【行事名】令和元年度第3回研究スキルアップ講座

【題名】「初級・中級者向け英語論文セミナー」

【講師】カクタス・コミュニケーションズ（株）

【場所】①岡山大学津島キャンパス 中央図書館3階 セミナー室

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_all.html

②地域医療人材育成センター岡山 3階講義室

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_shikata.html

【申込方法】メールにて申込: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp / 〆切 2月25日（火）

【開催機関】国立大学法人 岡山大学 ダイバーシティ推進本部

【関連情報】<https://www.okayama-u-diversity.jp/>

【イベント掲載】<https://www.okayama-u-diversity.jp/skillup-support/news/4254>

【問合せ先】ダイバーシティ推進本部

(E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp; TEL: 086-251-7011)

【対象】学外者も可：本学とのネットワークに参画を希望する研究者・技術者（DSO参加機関以外も対象）

■ 岡山大学 ■ 令和元年度第4回研究スキルアップ講座

マインドフルネスを基礎から学ぶ

【日時】①2020年3月6日（金）14:00~16:00

②2020年3月7日（土）10:00~12:00

【行事名】令和元年度第4回研究スキルアップ講座

【題名】「マインドフルネスを基礎から学ぶ」

【講師】佐渡 充洋氏（慶應義塾大学 医学部・講師）

【場所】①岡山大学津島キャンパス 創立五十周年記念館

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_all.html

②岡山大学鹿田キャンパス 鹿田会館・講堂（旧生化学棟）

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_shikata.html

【申込方法】メールにて申込: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp /

〆切 2月28日（金）

【開催機関】国立大学法人 岡山大学 ダイバーシティ推進本部

【関連情報】<https://www.okayama-u-diversity.jp/>

【イベント掲載】<https://www.okayama-u-diversity.jp/skillup-support/news/4255>

【問合せ先】ダイバーシティ推進本部

(E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp; TEL: 086-251-7011)

文部科学省 科学技術人材育成支援補助事業
「ダイバーシティ・研究開発環境イノベーション奨励助成」

令和元年度 第4回研究スキルアップ講座

マインドフルネスを基礎から学ぶ

「今の気持ちから「今ある身体状況」をあるがままに知覚して受け入れる心を育む」

令和2年 津島地区 3/6金	時間 14:00~16:00 場所 岡山大学創立五十周年記念館 2階大会議室
令和2年 鹿田地区 3/7土	時間 10:00~12:00 場所 岡山大学鹿田会館・講堂(旧生化学棟) 1階コミュニケーションスペース

対象者

- 岡山大学に在籍している教職員、研究者(大学院生、学部学生を含む)
- 所属の国立大学・技術者ネットワーク参加者及び参加予定者

無料
要申込
定員: 各会場40名
先着順

向 往 参 考 券 発 行 可 能
当日発行できるもので、申し込みの都度にあわせてご準備ください。

〇 託児サービスあり
週1歳~小学3年生の児童を対象に、個別の託児サービスを提供しております。希望者の方のみ、申し込みの際にあわせてご連絡ください。

お問い合わせ先
国立大学法人岡山大学
ダイバーシティ推進本部 部長 共同参加課長
TEL: 086-251-7303
sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
<https://www.okayama-u-diversity.jp/>

お申込方法は裏面をご覧ください

Pick up

「援助希求性」

皆さん、この言葉をご存知でしょうか。昨年11月に続くコラム「Pick up」第2弾はこの援助希求性に関する記事を紹介します。

話しの中心は5歳になる双子の女の子を持つお母さん。この母親には双極性障害があり、また実家からもなかなか支援を受けられない中での妊娠、出産、そして子育てに対して、自らがいかに向き合ってきたかを描いています（URLは文末）。

この記事のタイトルは“このままじゃ子供を殺しちゃうから・・・”と、非常に衝撃的に始まっています。初めて目にした時は「えっ！」と思いましたが、その先はタイトルの結びに「援助希求性」とあります。要は、窮地に陥った時、「助けて！」と言えるかどうか。それができたがために、このお母さんは順調に子育てができています、というのが記事の概要です。

一見、あまりダイバーシティに関係ないようにも見えます。ダイバーシティというか男女共同参画的には、ダンナがもっと家事・育児に協力しろよ、というふうに捉えがちです。しかしながら、それも「援助希求性」の一端ではないでしょうか。育児でも介護でも、妻があるいは夫がそれぞれに対して「〇〇するがタイヘン！」と、自分だけで抱え込まないで、まずは声を上げることが負担を減らすことの第一歩でしょう。これを夫婦や身内に限らず、友人、ご近所さん、あるいは行政に対してでも常にオープンに助けを求めることができる。そういう個人個人が持つ性質が「援助希求性」なのですが、結構発揮できていない場合が多いのかもしれない。

今回、この援助希求性を取り上げたのは、まず「こういう言葉があるんだ」という驚きと同時に、実はこれがダイバーシティ推進に極めて重要な「コミュニケーション」と密接に繋がっていると感じているからです。下記URLの記事が何かの参考になれば幸いです。

URL : <https://www.dailyshincho.jp/article/2019/08131100/> (全4ページ)

【DSO事務局@森林総研】

ニュースレターへの記事をご投稿ください！

「DSO Newsletter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

- ・シンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- ・最近行なわれたイベント報告、あるいは参加報告
- ・最近取組中のこと
- ・その他、お役立ちや関連情報

宛先：dso-secretary@ffpri.affrc.go.jp

参加機関内外への当Newsletterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育20機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画などダイバーシティに関わる活動を連携して推進しています。主な活動の一つとして、参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行なっています。当初は科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所（加入順）